

磐城時報

第六千六百六十一號 (日七廿月五年三和昭) 日七廿月五年三和昭

あす植田小學校で 石城教育會總會 會長、副會長、改選

兒童成績品展覽會開催

石城郡教育會春期總會は二果酸性土壤で酸氣が強すぎた、十七日午前十時から植田町小學校で分り石灰か木灰を施肥満校に於て第十七回總會を開き會水撤布し酸性を中和するやう指長、副會長の選舉を行ひ、議事示したが右の如きは珍しい事として御大禮紀念事業としてある。

信用組合には 影響がない

大谷久藏氏談
警備銀行休業によつて平町信用組合も多少の影響を蒙るではなにかと一般から見られてゐるが

縣下職業紹介所の 事務打合協議會

遊佐事務局長等臨席し 連絡校兒童に講演

福島縣下職業紹介所事務局長遊佐敏彦、福島縣社會事業主事補阿部泰彦、郡山市職業紹介所長久介、若松市職業紹介所所長水戸市職業紹介所山野邊美太郎、平町職業紹介所所長伏見彦衛、平町助役佐藤要四郎、共職業紹介に關する講演をなした

酸氣のために 水稻枯死

石城郡夏井村大字菅波箱崎清方の苗代二十余坪の水稲が二寸余成長したところ全部枯死に瀕したので農事試験場石城分場から小堀技手二十三日出張調査の結果

時事講演會

平青年團では二十七日午後七時から元石城郡役所で講演會を開き、講師は東京日日新聞社の左の兩氏である。
▲現代の青年 法學博士岡實氏
▲郷土の變化 東日學藝部長千葉龜雄氏

平町の電話 復式となる

多年の懸案であつた平町郵便局の新築も字四丁目角に六百坪の敷地買収を終り新築に着手するばかりとなつてゐるがこれと同時に仙臺通信局では現在最も舊式の單式で交換手が何番々とかねば接続し得ない不便を一掃するやう複式に交換機を全部取り換へる事に決したから平町の加入者は極めて便利となる譯である。

マルト撞球場 月並十勝會

終つて狂者會
平町町マルト撞球場では二十七日日曜日午後一時から月並十勝會を開催する筈で一等紫檜の弓、三等復興債券以下十等まで賞品を授與する筈で参加者は七十余名を豫想し會費無料で夕食代として金五十錢、盛會を豫想されてゐる。

調査報告

鯉漁場の
去る十六日以來館山、三崎、舟形方面の鯉漁場調査中であつた警備丸は調査を終えて歸港したが調査報告左の如し。
▲二十一日午前六時ハチヨコ魚群にて中鯉約五十尾を漁獲したが魚群は濃厚でなかつた、この海區勝浦南東微南二分の一

修學旅行通信

(八) 警高女四年生 (追信)
十八日午前七時二十六分、奈良の都に別れを告げて一時間ばかり汽車に揺られ桃山に着きました。

そのかみ、御生活も思ひはかされました。三十三間堂には千手觀音が古への宗教の隆盛であつたことを明らかに物語つてゐました。清水寺は五月の縁にかこまれた寺で、下の方を見ると、清い水と、青い樹ばかりが眼につくところ。

金閣寺の足利義満の榮華を極めたといふ建築は全くきびれてゐました。鏡湖池は紫のあやめが咲き、大きな鯉がゐりました。私達の宿は加茂川に面した氣持の良い宿です。夜は京極の灯の下に、故郷の父母に、はらからに、友に、た土産を買ひ求めました。京極の夜の灯を慕つて集ひ來た人々のために埋められてゐました。

音羽の瀧に打たれて何か唱へてゐる女の人が二人ありました。何故かその姿、その聲がはつきり印象づけられてゐます。智恵院では記念撮影をなし、八阪神社から嵐山に向ひました。大通りは東京なら銀座の感じでした。それから北野天

百尾を釣獲した、この附近天餌料豊富餌付良好であつたが魚群は矢張り濃厚でなかつた。二十一日午後三時半勝浦南東四分の三南六百九十九の海區で一大魚群を發見し餌付また頗る良好であつたが如何せん餌料に不足を來した處だつたので僅百尾を釣獲したばかりで歸途に就いた。

これによつて見ると鯉漁期は昨今漸く本舞臺に入り清新澄測たる獲ものが初夏の石城を飾ることであらう。

警中マラソン

中學校では二十七日の海軍紀念日當日例年マラソン競走を行つてゐたが、本年は日曜日に當るので二十六日午前九時から警中校庭と小川江筋橋間で舉行した

▲勿來弓道會 勿來町大日本弓道支部では御大典紀念として工費二千圓を投じて同町郵便局裏に道場を新設したが之が開幕式は二十七日午前九時から舉行し併せて春季弓術大會を催は

情婦を囚にして 前借を詐欺

平署で行衛嚴探中

ひつかかつた弘木屋

四倉町飲食店松聲館伊藤晋次郎に於ける同人は二月頃から内郷長男伊藤駒次郎(三三)は二十五日村役場で行路病人として保護中日午前十一時頃自分の情婦相馬の者と判明内郷村役場に聞き合那日立木村生れの馬場ハナ(二二)したる處、本人は同役場で保護(〇)を連れて平町三丁目西洋料理中精神に異常を呈してゐたので運店弘木屋方に至り、この女は行動監視中二十五日午前十時無四倉町佐藤飲食店で酌婦をして断で病舎をぬけ出し平町まで来たものであるが九十圓さへあつた事判明したのは平町役場に引れば酌婦稼業がやめられる、そ渡し行路病舎に收容した。

温泉神社昇格

石城郡湯本町大字湯本鎮座郷社湯本温泉神社は兼て内務省に對し縣社に昇格方を申請中であつたが廿四日附を以て昇格認可された。

釋尊降誕會

小川村高萩院では來る六月六日釋尊降誕會を開き野外傳導及び甘茶の接待をなし特に參拜の兒童には花祭りの歌のパンフレットの旗を贈り尚ほ余興として薩摩琵琶の演奏がある。

警中各會

例會を開く
警城中學校生徒より成る左記各會の例會は左記日割により開會演説の講話その他會員の五分間演説がある。

- ▲二十五日(螢雪會、鐵東會、東北團、双葉會、好友會、菊田會)
- ▲二十六日(螢雪會)
- ▲二十七日(尼子橋會)

行路病舎を

ぬけ出す
二十五日午前八時頃平町材木町附近を平署巡査が警邏中本籍不明栗原タキ(七一)といふ老婆が路傍で苦んでゐるのを發見調査

免囚餘論(八)

慶大 北郷生
私達は例外的にもせよ死刑の廢止、無期刑撤廢の機運に向つて參りました。監獄制度の慎重な研究が火急の必要となつて來た。累犯(再犯)が驚く程多し事を想ふべき、そこに重要な指示を見なければならぬ。まじめ(陪審法)もこの点を考慮した立法と考へます。後掲(拙稿)刑の運用に當り、我々の根強い應報思想は重大な作用を持つてゐる。けれども赤裸裸な應報観念、衝動的、無目的な態度は棄てねばならぬ。ぬ、といふのは前にいふと述べました事は要するに法律上の施設に關します。法律は社會進歩の一要素であり、社會の全部を蔽ふものでありませぬ。既に然りすれば法律によつて社會の侵犯者に應對するのみを以て足れりすべきでないことは明白であります。

古代に於てタブは迷信でありました。その迷信は社會の保存に重要な役割を演じました。現代は科學の時代であり、合理化の時代であり、意識的な世紀であり、單なる反動(無産黨諸氏は往々に反動内閣なる語を用ゆる)も私はその意を解し得ない。私のいふところは通常、動に對する反對な傾向(レクチオンを云ふ)は慎まねばならぬ。茲で私は支那古賢の人性論(人は生れ乍らにして善なりとの説とその反對説)を思ふ。ロムプロローゾの犯人定型を考へる。優境學、優生學運動を稽へる。私の所説は論点を外れた。しかし私は未だ言ひ足りないことを感ずる。しばらく志ある人の所論を聞きたいと思ふ。免囚、即ち種々の事情により犯罪者となり不合理的な(或点)刑に服し之を終へてこの缺陷ある社會へ再生しやうとする人々に、應接するに就ての態度如何はこの稿に於て盡すところではない。私は、ステルンベルグ教授の常に口にせらるることを通じて筆をたたく。曰く、私は社會主義を信奉したが或夏輕井澤で同じ乗合自動車に幾苦しい労働者と同席するに強い嫌惡を感じた事に於て私自身の論理的内的矛盾を感じた。社會學的にいへば現代は教育化の時代である。云々(昭和三年五月十五日誌す)

産婆開業

東京帝國大學醫學部
産婆復習科卒業
草野靜枝
平町研町九番地(公園下)
電話(呼)四四三番

醫院開始

安齋外科醫院
診療科目 一般科、外科、花柳病科、腸胃科、泌尿科、皮膚科、性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで(但し急患は此の限にあらす)
平町研町大通り(電話四三六番)
入院隨意

神皇散

散(一週間金壹圓)
◎血ノ道◎産前、産後◎難産、流産ノくせ◎古血、惡血ノ滯
◎子宮、寸白、腰、腹、冷◎男女頭痛、目眩、立眩ミ
◎上述◎腦神經不眠症ニ大効ヲ奏ス。
代理店 平町研町 水野藥局

汽車印片腦油

殺菌防臭の効絶大なり
代理店 關内藥局
平町四丁目(電話四〇番)

牛豚肉特價

牛中肉	百匁	金三十三錢
牛上肉	同	金五十五錢
豚中肉	同	金七十五錢
豚上肉	同	金九十五錢
口上肉	同	金六十五錢
口下肉	同	金四十五錢
廉賣王	同	金三十五錢

平町停車場前(平劇場入口)
深谷牛肉店
電話五二四番

優秀新藥トリックス

御心配は御無用です
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症
律効ある
を御試し下さ
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

小學生	通學服特價賣出し
七八才用	一圓十錢
十才用	一圓二十錢
十三才用	一圓三十錢
女學用白洋傘	一圓三十錢
タリス付	一圓三十五錢
ヘリス付	一圓四十五錢
レリス付	一圓九十五錢

列由 陳白 列由 陳白 列由 陳白
御試し下さ
店商ヤルツ
【番十四百話電】町平